第12回中性子科学会年会（2012年12月10、11日、京大）における

中性子産業利用相談デスク
産業利用セミナー　開催

産業利用促進のための
産学連携を目指して

中性子の真の産業利用を推進するためには、産業界と学術の相互理解が不可欠です。産業界の技と学術の知の融合を目指し、日本のすべての中性子施設が参加し、出会いの場を作ります。「中性子で何が分かるの？」から「共同研究の相手探しの相談」まで何でも相談可能です。

相談デスクの3つのカテゴリー

- 中性子施設利用デスク（各施設コーディネーターやBL担当者など）
  （J-PARC/MLF、JAEA、KEK、CROSS、茨城県、JRR-3、（JAEA）、東大物性研、KUR）
  → ビームライン選定相談、課題申請相談、解析相談など
- 研究相談・研究者紹介デスク（中性子研究者や物質科学研究者）
  → テーマ中心の研究相談、共同研究相談、解析相談など
  （ハードマター、ソフトマター、電池材料、材料科学、その他）
  （要望があれば、学会に相談員を要請します）
- 量子ビーム連携デスク（放射光研究者や放射光を利用する中性子研究者）
  → 放射光X線、ミュオンの相補利用のやり方、相補利用で何が分かるかなど

中性子科学会年会との関係

- 年会の付帯行事として行いますので、年会とは別に参加できます。
- 年会で「産業利用シンポジウム」を開催しますが、このシンポジウムに限り、自由に参加していただけます。
- 年会の付帯行事として、「産業利用セミナー」を同時開催します。
- 年会の懇親会に参加できます。（ただし、原則事前登録制）。
  懇親会の詳細は、年会のホームページ（http://jsns2012.jp/）をご覧ください。

年会、相談デスク、産業利用セミナーのスケジュール（予定）

参加手続きについては、後日学会ホームページ（http://www.jsns.net/jp/）等でご案内します。

連絡先：中性子科学会会長　金谷利治（京都大学化学研究所）
Tel. 0774-38-3140, email: kanaya@scl.kyoto-u.ac.jp